

## 第2学年図画工作科学習指導案



平成28年10月28日(木)5校時  
武蔵村山市立第三小学校  
第2学年2組24名  
主任教諭 森田 由紀

### 研究主題

「人との関わりを大切にし、豊かに表現できる児童の育成」  
～グローバル人材育成に向けたオリンピック・パラリンピック教育の充実～

#### 1 題材名「ようこそ♪ シルエット・ミュージアムへ!!」表現(2)

#### 2 題材の目標

オリンピック・パラリンピックの競技シルエットやスクラップを活用し、感じたことや想像したことを着色やコラージュなどの表現方法で作品に表す。

#### 3 題材の評価規準

| 造形への関心・意欲・態度                    | 発想や構想の能力                                   | 創造的な技能  | 鑑賞の能力                                      |
|---------------------------------|--|---|--|
| 感じたり想像したりしたことを絵に表す活動を楽しもうとしている。 | 感じたり想像したことを絵に表すために好きな色を選んだり、面白い形を考えたりしている。 | ・ローラーや刷毛、スポンジで表し方を工夫している。<br>・コラージュの素材を工夫して貼っている。 | 友人の作品を見る、まねるなどしながら、作品のよさや表し方のおもしろさに気付いている。 |

#### 4 指導にあたって

##### (1) 題材について

本題材は、小学校学習指導要領図画工作科第1学年および第2学年の内容、表現(2)「ア. 感じたことや想像したことから、表したいことを見つけて表すこと」に基づき設定した。

第1次では、オリンピック・パラリンピックの競技について知ることを中心にした活動を行う。その際、映像を見せたり、実際に競技のポーズをとらせたり、シルエットクイズを行わせたりすることで、オリンピック・パラリンピックで行われた競技をより身近に感じさせる。また、競技ごとに特徴のある体の動かし方やフォームなどを意識させながら、シルエットを活用した製作のテーマにする競技を決めさせる。

第1次から第2次までは少し時間を空け、コラージュで使用する素材を家庭で集めさせる期間を設定する。第2次では、オリンピック・パラリンピックから想像したことや競技から受ける印象、出場国に関することなどを競技シルエットに表現させる。色付けは、ローラーや刷毛、スポンジを用いて行わせる。その後、オリンピック・パラリンピックの競技に関する雑誌の切り抜きのコラージュを行わせる。さらに折り紙や色紙などを使って、何を強調したり、自分の想いを込めた形でデコレーションさせたりしながら作品を製作する。今回の作品は、2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックへの期待を込めた作品という共通認識のもとで製作させ、校内掲示として活用する。

第3次では、友人の作品を鑑賞する。まず、学級で発表の練習を行った後、学年全体で「シルエット・

ミュージアム」をつくる。鑑賞する際、作品と同じポーズをとったり、なんの競技を作品にしたのかをシルエットクイズにしたりして、体全体を使って伝える活動を取り入れる。

この題材で児童に伝えたいことや考えさせたいことは、オリンピック・パラリンピックから感じたことや想像したことを色や形ではどのような表現が可能かということである。

## (2) 児童について

本学級の児童は、表現することが好きで、図工の授業で多くの材料や技法（ローラー、スタンプング、スクラッチ等）に触れ、思い思いに表現活動を楽しんできた。第2学年の1学期には、「カラフルこっき de My World!!!」で自分が作る国をイメージしたオリジナル国旗作りを行い、友達の作品を鑑賞した。鑑賞面では、友達に国旗を見せながら紹介すること、友達の国旗紹介を聞くことについて、多くの児童が意欲的に取り組めた。一方で、「恥ずかしい」「うまくできないと思う」という理由から、積極的に活動することができない児童も数名見られた。ただし、本単元では学年全体の発表会を行うが、その前段階として、友達の発表の工夫を参考にできるといった、交流することの良さに気付いている児童もいる。少人数の発表練習を行い、自信をもって取り組むことや、鑑賞し合う価値に気付くことができるようにする。伝え合う楽しさを味わうこともできるようにしていく。

## 5 研究主題に迫る手だて

### (1) 研究仮説

〔仮説1〕オリンピック・パラリンピック教育の視点から授業の充実を図ることが、児童の視野を広げ、グローバルな社会を生きる人材となる素地を養うことに繋がるであろう。

〔仮説2〕児童一人一人が分かる授業を展開するために授業作りに授業のユニバーサルデザイン化の手法を取り入れ、ねらいの達成から逆算した授業作りを行えば、児童の学習意欲や主体的に学ぶ態度、豊かな表現力を養うことができるであろう。

### (2) 目指す児童像

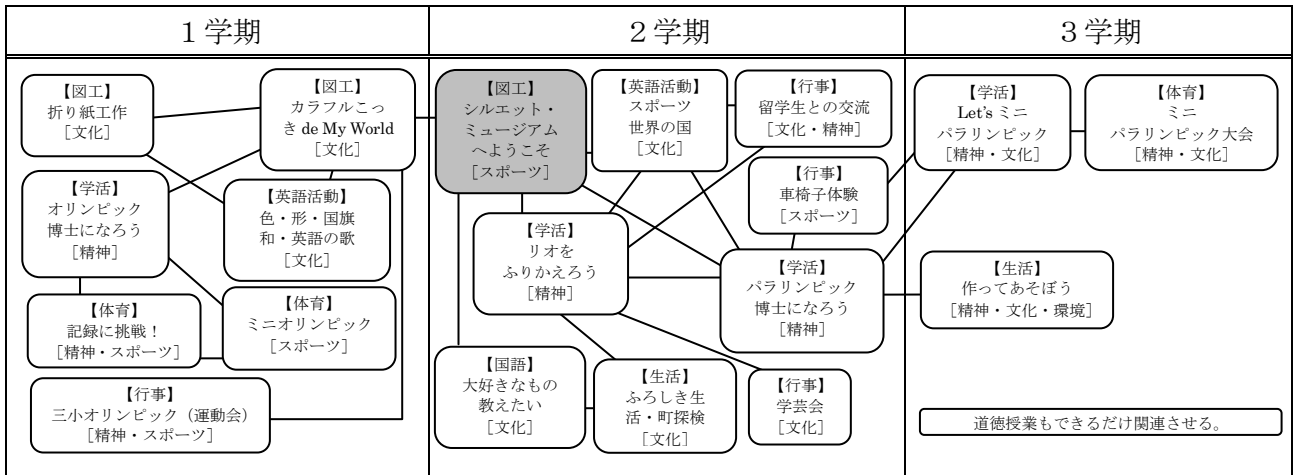
|     |  |
|-----|--|
| 高学年 | 自他のよさを認め、主体的に相手と関わり合いながら、表現活動を工夫したり、自己の最善を尽くしたりすることができる児童。 |
| 中学年 | 自他のよさを感じ、相手との関わり合いを通して、目標に向かって、主体的に表現できる児童。                |
| 低学年 | 自分のよさを感じ、相手との関わりを大切にして、楽しく表現することができる児童。                    |

### (3) 本単元におけるオリンピック・パラリンピック教育理念との関連

| 重点的に育成する五つの資質 |   | 4つのテーマ×4つのアクション（本時） |
|---------------|---|---------------------|
| スポーツ志向        | スポーツへの興味関心<br>フェアプレーやチームワークの精神<br>心身ともに健全な人間に成長 | スポーツ×学ぶ             |

※2学期は、ふろしき体験や全校のスポーツ車椅子体験、留学生との交流などがある。年間を通して、オリンピック・パラリンピック教育実施方針に沿った活動を意識して設定する。

(4) 他単元及び他教科との関連 (他教科・他領域や日常的な指導等との関連)



1 学期は、国旗の学習を中心に、英語活動、学級活動、図工などを関連付けた指導を行ってきた。また、学校全体でリオオリンピック・パラリンピック閉会式のセレモニーで使われる人文字撮影に参加協力したり、全校活動としての校内ちぎり絵国旗作りも行ったりした。

2 学期は、リオ大会直後であり、競技大会を通して感じたことを表現する活動として、図工でシルエット・ミュージアムを設定している。また、中学年以上が世界に目を向ける活動以外に、2 年生ではふるしきや剣玉など、伝統文化にも目を向け、体験を通して学ぶ機会を設定している。全校競技車椅子体験や留学生との交流、アスリートを招聘した授業を予定しているが、それらをオリンピック・パラリンピック精神に関する学習を中心にしながら関連させ、充実した学びにしていきたい。

本題材では、図画工作の学習を通し、4つのテーマのうち、「スポーツ志向」に関わる学習を設定し、アクションは「学ぶ」を設定した。

(5) 本時の指導におけるユニバーサルデザインの視点について

本時の授業計画の組み立て (ねらいの達成から逆算)

| 授業展開                        | 活動の様子  | 授業のユニバーサルデザイン視点   |
|-----------------------------|--|---|
| ねらいの達成<br>↓                 | 紹介文を完成させ、自分の作品について説明する達成感を味わう。               | ①紹介文の完成を大いに褒めたたえたり、完成間近な児童を励ましたりする。【達成感を味わわせる】<br>②全体で紹介文や紹介の仕方のよさを取り上げ、児童にフィードバックし自信をもたせる。【共有化に向けた手だて】<br>③ワークシートを穴埋め式にしたり、話形を示したりする。<br>【個人差への対応】                 |
| 展開後半<br>(製作中)<br>↓          | 自分の作品のよさや、製作過程を振り返る。                         | ①製作過程を思い起こさせる。<br>②国旗で学習した色に込められた意味や、コラージュで使った写真を選んだ理由を思い起こさせる。【個人差への対応】  |
| 展開前半<br>(模索中)<br>(試行中)<br>↓ | 製作過程を思い出しながら、作品について伝えたいことを整理してワークシートの紹介文を書く。 | ①作業時間の目安を掲示し、授業全体の見通しを見える形で示す。<br>【時間の構造化】<br>②自分の作品を見て考えさせる。【視覚化】<br>③隣にいる友達とアドバイスし合いながら考えさせる。【共有化】<br>④思い返すことが苦手な児童には、製作過程で撮影した写真を見せながら、紹介したいことを考えさせる。【スモールステップ化】 |

|       |                            |   |
|-------|----------------------------|---|
| 授業の導入 | 課題と手順を正しく捉える。              | <p>①シルエット・ミュージアム学年発表会があることを知らせ、他のクラスも一緒に作品発表会を開くことを確かめる。【見通しをもたせる】</p> <p>②教師が発表の仕方のよい見本、よくない見本両方のデモンストレーションを行い、この時間にできるようになってほしいことを捉えさせる。【視覚化による意欲喚起】【スモールステップ化】</p> <p>③制作手順を分かりやすく掲示し、できそうな気にさせる。<br/>【展開の構造化による意欲喚起】</p> <p>④時間の流れを短冊で掲示し、45分間の流れの見通しをもたせる。<br/>【展開の構造化による意欲喚起】</p> |
| 個別支援  | 紹介文が仕上がらない。<br>人前での発表が難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>穴埋め式のワークシートや、学習場面の写真を使って、活動を振り返らせる。また、本人の作品のよさを教師が少しずつ具体的に伝える。</li> <li>学年発表会での発表ではないことを伝え、紹介文を正しく読ませることから指導していく。</li> </ul>   |

## 6 単元の指導計画

| 次 | 時       | 学習のねらい                                     | 学習活動・予想される児童の考え  | 評価  |
|---|---------|--|--|---|
| 1 | 1       | オリンピック・パラリンピック競技を想像し、自分の作品をイメージしてシルエットを選ぶ。 | <p>さまざまな競技を知り、製作の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どんな競技があるのかを知る。</li> <li>シルエットクイズを行う。</li> <li>製作するシルエットを選ぶ。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>競技のイメージを楽しみながら色や形で表現しようとしている。</li> <li>【関心・意欲・態度】</li> </ul>   |
| 2 | 2       | 楽しみながらコラージュの素材を集める。                        | <p>製作する競技にあったコラージュの素材をはさみで切り取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コラージュの素材を用意する。</li> <li>コラージュの素材をはさみで切り取る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>はさみの使い方を意識しながら製作している。</li> <li>【技能】</li> </ul>   |
|   | 3       | 競技のイメージに合った色や描画材を考え、着色する。                  | <p>競技のイメージを色や形で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ローラーや刷毛、スポンジなどの描画材料を用いて着色する。</li> <li>スポンジを使うと、ブツブツした模様ができる。</li> <li>ローラーや刷毛を使うと一気に着色できる。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>表現する競技のイメージを色や形で表現しようとしている</li> <li>【発想・構想】</li> </ul>   |
|   | 4       | 競技をイメージしながら、コラージュの素材を作品に貼りつける。             | <p>競技をイメージしながら、雑誌の切り抜きや画用紙、折り紙をコラージュする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雑誌の切り抜きをコラージュする。</li> <li>早く終わった児童は画用紙や折り紙で装飾する。</li> <li>雑誌の切り抜きの周りに画用紙や折り紙を貼ると目立つ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>出来上がりを確認しながら必要な材料・道具を選択し、製作している。</li> <li>【発想・構想】</li> <li>のりをはじまでぬり、はる事ができている。</li> <li>【技能】</li> </ul> |
| 3 | 5<br>本時 | 作品の紹介文を考えたり、発表練習をしたりする。                    | <p>紹介文を考えたり、発表練習をしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品カードを作る。</li> <li>発表練習を見合う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>紹介文を作ることができる。</li> <li>【発想・構想】</li> </ul>  |
|   | 6       | 友人が製作した作品を鑑賞する。                            | <p>学年で作品を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品を見合ったり、ポーズのまねをしたりする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>感じたことを話したり、友人の話の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さに気付く。【鑑賞】</li> </ul>   |

## 7 本時の学習

### (1) 本時の目標 (5 / 6 時間扱い)

シルエット・ミュージアムで発表する自分の作品のよさや特徴を考えたり、発表練習をしたりすることができる。

### (2) 展開

| 過程                         | 学習活動と予想される反応<br>・予想される反応   | ●指導上の留意点 ◆個別の配慮<br>◎評価【観点】(方法)  | ☆ユニバーサルデザインの視点   |
|----------------------------|--|---|--|
| 導入<br>5分                   | 1 本時の学習内容を確認する。<br>・発表会について知る。<br>・自分の作品について伝えたい。<br>・うまくできるか心配する。 | ●作品の紹介文を考え、発表練習をする。<br>●英語の時間に行ったシルエットクイズを想起させ、クイズ形式で発表を始めることを確かめる。<br>●教師の発表デモンストレーションを通して、よりよい発表の仕方について考えさせる。<br>●この時間の流れを短冊で掲示する。  | 【見通しをもたせる】<br>掲示物の活用<br>スタートを揃える。<br><br>【視覚化による意欲喚起】<br><br>【展開の構造化による意欲喚起】 |
| しょうかい文を考え、はっぴょうれんしゅうをしよう！！ |  |   |  |
| 展開<br>30分                  | 2 作品の紹介文を考える。<br>・発表の順序を確認する。<br><br>・作品の説明を考える。                   | ●穴埋め式のワークシートを活用し、自分の作品の説明を考えさせる。<br>◆国旗の学習を想起させながら、色のイメージを思い出させる。<br>●色やポーズに込めた意味を振り返らせる。<br>●競技を選んだ理由を振り返らせる。<br>●コラージュした理由を振り返らせる。<br>●作品作りで工夫したところや、難しかったところと、がんばったところなどを思い出させる。<br>◆ローラーやスポンジなどを使った時のことを思い出させる。 | 【時間の構造化】<br>【スモールステップ化】<br><br>【個人差への対応】                                     |
|                            | 3 少人数で発表練習をする。   | ●紹介文が終わった児童から個人練習を始めさせる。<br>●ペアで練習し、作品のよさを伝え合わせる。<br>◎作品のよさや特徴を考えたり、発表練習をしたりすることができる。<br>【技能】(ワークシート、行動観察)  | 【共有化に向けた手だて】<br><br>【ねらいの焦点化】<br>達成感を味わわせる                                   |
| まとめ<br>10分                 | 4 交流する。<br>・競技を選んだ理由を伝える。<br>・作品作りの感想を伝える。<br>5 学習を振り返る。           | ●代表児童数名に発表させる。<br><br>●代表児童の発表のよかったところを発表させ、全体で共有させる。   | 【共有化】  |

## 8 板書計画

|                                      |             |   |
|--------------------------------------|-------------|---|
| 題材名<br>シルエット・ミュージアムへようこそ             | お手本のシルエット作品 | 制限時間  |
| めあて・・・しょうかい文を考え、はっぴょう<br>れんしゅうをしよう！！ |             | はっぴょうの<br>よかったところ<br><br>・大きな声<br>・えがお<br>・さいごまでつたえる<br>・くわしくつたえる |
| この時間のなかれ                             |             |   |
| 1 しょうかいすることを 考える                     |             |   |
| 2 しょうかいカードを 書く                       |             |   |
| 3 ペアで れんしゅうする                        |             |   |
| 4 みんなの前で はっぴょうする                     |             |   |